

平成20年度熊本県商店街実態調査結果

商店街実態調査とは

商店街の基礎的な数値を毎年把握することにより、より効果的な商業振興施策を展開するうえでの基礎資料とするため実施するものです。

毎年4月に、3月末日現在の県内商店街の状況を調査します。3年に1回、より詳細な調査(本調査)を行います(前回本調査は平成19年度)。

調査対象(この調査の「商店街」の定義)は、「15店舗以上で形成される街区」です。組織の有無は問いません。

把握している数値は、

空き店舗率 (全店舗に占める空き店舗の割合)

新規出店率 (1年間の新規出店数が、調査時点の店舗数に占める割合)

閉店廃業率 (1年間の閉店・廃業数が、調査時点の店舗数に占める割合)

の3つです。

平成20年度調査(簡易調査)について

調査基準日

平成20年3月31日現在

調査商店街数

160商店街(回収率94.1%)

調査区分

県内商店街を次の5つに区分して集計

(H19.5月の熊本市・八代市の中心市街地認定に伴い、区分を改正)

熊本市中心市街地に所在する商店街(31)

八代市中心市街地に所在する商店街(6)

旧法上の中心市街地に所在する商店街(65)

旧法上の中心市街地...改正前の中心市街地活性化法による中心市街地で、新法による認定を受けていない地域。

熊本市の中心市街地以外に所在する商店街(32)

上記以外の商店街(36)



八代市(旧鏡町) 人吉市 水俣市 玉名市 山鹿市(旧山鹿市・旧鹿本町) 菊池市 宇土市 宇城市(旧松橋町) 阿蘇市(旧一の宮町) 天草市(旧本渡市・旧五和町) 城南町 南関町 植木町 小国町 高森町 山都町(旧矢部町) 氷川町(旧宮原町) 多良木町 湯前町 あさぎり町(旧免田町)

調査結果

過去3か年の推移については、別添のとおり。

空き店舗率

10.7%

平成18年度まで上昇の一途をたどっていたものが平成19年度に若干下降したが、平成20年度は更に大幅に下降している(1.6%)。

新規出店率

4.2%

県全体では横ばい。八代市中心市街地のみ上昇幅が大きくなっている(+0.8%)。

閉店廃業率

5.3%

県全体ではわずかに上昇しているが、八代市中心市街地のみ下降している(1.0%)。

八代市中心市街地について、新規出店率は上昇しているが、閉店廃業をカバーするに至っていないため、空き店舗の増加に繋がっている。